教育福祉常任委員会議記録

1. 期 日 令和3年3月12日(金) 開会 16時49分
閉会 17時33分
2. 場 所 議事堂(議場)
3. 付議事件 ①二宮町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第21号)
②二宮町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第22号)
③二宮町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第23号)
④二宮町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第24号)
4. 出席者 根岸委員長、羽根副委員長、小笠原委員、露木委員、前田委員、一石委員、善波議長
- 執行者側 ①②③④町長、副町長、健康福祉部長、高齢介護課長、介護保険班長
- 傍聴議員 6名
一般傍聴者 0名

5. 経 過

- ①二宮町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第21号)
- ②二宮町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第22号)
- ③二宮町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第23号)
- ④二宮町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(議案第24号)

<補足説明>

委員長 追加された補足資料の説明をしていただけるか。

高齢介護課長 補足資料の追加について今回出させていただいた4つの条例の中で、二宮町にある施設で、どこの部分が該当するか追加した。

委員長 町長提出議案第21号から第24号まで一括審査とするが、これにご異議無いか。
（「異議なし」との声あり）これより一括質疑をする。

<質疑>

善波 事前に補足資料をいただいております、上位法が改正されることは分かっている。直接条例改正により、町が干渉していかなければいけない事業所をいただいたが、条例に基づき、どこまでの施設が二宮町の施設として関わっていくのか詳細を教えてください。どこまで入り込んでいけるのかとか。要するに条例を制定するだけであれば簡単だが、それによって、条例通り守られているのかどうかを町としては、そこをあれしておかなければならない。そういう権限はどこまでの施設にあるのか。

介護保険班長 町がどこまで踏み込んでいるのかということだが、数年に1回、各事業所に必ず実地指導を行っている。そこで書類等を見て、実際に条例通りになっているか確認している。今回、経過措置がいくつか入っているものもあるが、それを含めて確認し、もし万が一、条例通り運用していない場合は、口頭指導、文書指導し、それでも直らない場合は監査等へ進めていく。

善波 町では、ここに明記されている全施設に対して、それだけの権限をできるのか。

介護保険班長 今回議案で上げた議案第21条から第24条までについては、全て町が行える権限があるので、全て踏み込んでチェックをしていく。

羽根 チェック機能について聞く。数年に1回とチェックと今おっしゃったが、改正になったら、そんなに長いタームではいけないと思うので、最初の適正になっているかについての確認はいつ頃やって、その後どういうタームで確認していくのかについて伺う。

介護保険班長 保存期間が5年となっている。どんなに期間が空いたとしても5年に1回は入る。ただサービスごとに1か所、2か所と選定していくので、たとえば24号に記載しているケアマネ事業所が現在6か所ある。そちらを1年間に2事業所やったとすると、次の実地指導は3年後になる。ただし、実地指導の中で問題があった場合は1年間に2回やったケースもある。ある程度期間を設けて様子を見ようとした場合は隔年で行うなど、柔軟に変更し、実際行っているかどうか毎年確認している。

小笠原 たとえば第21号の3条に虐待について防止するための項目が入った。必要な体制の整備が抽象的であり、今まではいろんな事業所が研修をしていたはずである。事業所に行ってみれば、今回の条例改正により、今までも

こうだったが、よりこうだという指導がいくのではないかと思っているが、そういうところの研修を事業者にしつつ、具体的手法みたいなものを、しっかり上げるような指導になっていくのか。今までと違うとか。私は本来やるべきだと思っているので、これでどう変わるのかを確認したい。

介護保険班長

虐待について運営としては、どの事業所もやっている。あくまで今回は規定をするという改正になるが、規定をすることにより事業所に周知をしないといけないところがある。改正時期でなくても毎年必ず春先に県が主導になり、県が認可をした事業所に対して集団指導を行う。町については、そちらに出ているテキストを参考にしながら、地域密着型の施設に対して町が集団指導を行う。そこでこういったところを具体的に追加するので必ず行うよう指導する。ガイドラインが国や県から出るので、それに基づいて事業所の方たちに周知指導させていただく。場合によっては経過措置があるが、経過措置が過ぎても実施されていないところに対してはサービスによっては減算で、満額もらえるお金が5パーセント減になるというところもあるので、そのところを含めて丁寧に指導していきたいと考えている。

小笠原

事務事業が町に下りてきて大変だと思うが、私どもの町の職員は、こういう事業所に対して何年に1回チェックすると先ほど言っていたが、何年に1回行くという人は一定の資格を持った決まった人が、二人がやっているとか、何人かが代わる替わるやっているとか。私どもの町の高齢介護課は現場との対応についてどのような動きをしているのか、この条例が新たに変わることによって動きとして、労働時間みたいなものが、より増えるのではないかと危惧するが、そのへんはいかがか。

介護保険班長

実地指導については、先ほど何年に1回と回答したが、県の実地指導についても町の職員が出席するので、それも含めると年間でだいたい8件ぐらい実地指導を行っている。対応している人数については県の実地指導に参加する人数については私と給付担当がいるので、その2名が対応している。地域密着型については県の職員が来ないので、私と給付担当と課長の3名で対応している。実地指導を行う際に、何日に行うという通知を約1か月前に出し、それを受けた事業所が資料を作成する。2週間前までに提出することになっているが、提出された資料を3人で確認し、それ以外で実際に指導に行った時にラウンドと言って施設全域を回って問題がないか確認をする他に改めて文書等を確認する。事前に出していただいた資料の他に追加で、その場で何件かケースファイルとか、そういうものを出してもらい、内容をチェックする。実際は実地指導に行ったとしても正直言って一日では足りない。本当は2日から3日いただきたいところである。実地指導について参考書みたいなものがあるが、分厚くとても覚えきれないもので、中には見逃してしまうケースもあるが、できるだけ覚えて指導できるような体制を整え、実際の実務で行っているところである。

小笠原

その前は県だけが行っていたが、町が担当してから人数がこれだけ出ているとか言っても実際出ていなかったり等、人が足りないので事業所によってはいろいろあると思うが、町が権限を受けてから、チェックに引っか

かかり、改めて県の指導や監査が入ったところは実際あったのか。

介護保険班長

町の実地指導の結果で県の監査が入ったところは今までない。ただし、実地指導以外のところで別の理由で監査が入ったことはある。

露木

一番気になっているのは人員の配置の緩和である。資料に対象施設をいただいたが、緩和にも条件があると思う。この場合には緩和できるとかがあると思うが。ここに出ている対象施設の全部が条件緩和に適合し、緩和されるのかどうなのか。今回の緩和基準には引っかけられないけれども、ここに載せているのかどうか。実際に緩和されそうなところは、この施設から絞られるのかを聞きたい。この緩和により、事業者は事業がやりやすくなるのか。新規で参入とかもやりやすくなるということによろしいのか。そこで働いている方は大変になるのではないかと思うが、それについてどうお考えか。国からの法律改正できていると思うが、それとは別に町だけの変更は今回、この中に入っていないということによろしいか。

介護保険班長

人員緩和については21号、22号に関わってくると思うが、この中で影響があるところは、相談員は配置しなくてよいというところで二宮喜楽園が該当する。それ以外でグループホームになるが、計画作成担当者はユニットに1人置かなければならなかったが事業者に1人ということになるので花物語にのみや、はなの家が該当する。それ以外の人員配置については共用型と記載しているものについては二宮町には無いので影響はない。地域密着型の特養についても大部分について、実は地域密着型の特養の中で二宮喜楽園がサテライト型に分類され、既に人員配置基準が緩和されているので、今回の改正とはあまり影響がない。人員配置基準の中で大きく影響が出てくるのが二宮喜楽園とグループホームの2か所になる。ただ今回の改正で新規として二宮町に参入したいという事業所があるなら、だいぶ入りやすくなってきていると考えている。利用者側としては多少手薄になる可能性が高いので、多少なりとも少し今までに比べると正直なところどうかというところである。国の改正だけではなく、町の改正についてはいくつか修正したところがある。たとえば23号、24号の中で今まで町という規定をさせていただいたが市町村という形に変更した。ケアマネ事業所と包括になるが指定としては町がしなければいけない形になるが、包括にしても町のケアマネ事業所にしても町だけの人を看るとは限らない。そういった時に、たとえば事故が発生した場合、今までの条例だと二宮町だけに報告すればよいという記載だったが、本来だと保険者、たとえば包括が大磯町の方を看ていたら、その方に事故が発生したら二宮町だけではなく大磯町にも報告しないといけないので、その関係もあったので町ではなく市町村に修正した。

露木

そうすると相談員の配置とか、喜楽園やはなの家とか花物語にのみやとか影響があるということだが、事業者としても緩和していくというような方向性の話になっているのか。それとも、緩和されるが、しばらく今のままいけるといような話を何か聞いていれば教えてほしい。

介護保険班長

今のところそういった話は伺っていない。町で集団指導をした時に法人としてどう考えるかが関わってくるのかと考えている。

一石

渡辺議員からいただいた説明資料の2ページ目の個室ユニット型施設の①が1ユニットの定員を、現行の「1ユニットのおおむね10人以下」から1ユニット15人以下に緩和するとあるが、おおむね10人以下というのは現場では大体何名になっているのか。おおむね10人以下が非常にあれだなと。1ユニット15人以下というのはおおむねが抜けているから15人というのが規制になるのか、何か不思議だなと。現実には2人ぐらいの緩和の要件なのかと。現場では、規制を超えるような状況なのか。ユニット型個室的多床室の今後の新設の禁止というのはユニット型多床室というのは1ユニットの定員が今度15人以下になるというようなものをユニット型個室的多床室というのか教えていただきたい。

介護保険班長

特養の関係になるかと思うが二宮喜楽園だと1ユニット9人で運営している。9つの個室があるので、この条例が可決された場合、今駐車場になっているところを拡張し、新しいユニットとして個室として6床追加すれば対象になる。現状としては1ユニット9人で、面積等の影響もあるので、今の現状の中で1ユニット15人とするのは、なかなか難しいと思っている。多床室については一部屋当たり4人の病院の病室のイメージになるが、コロナとかの影響もあり、なんらかの仕切り等が今後は無ければいけないという観点から多床室は今後禁止となった。

委員長

この条例に制定により、現場の聴き取りや施設の方針もこれからだといっただうなのかという話の中で、町から施設に行くことが頻繁になるのではないかと見込んでいるのか。

介護保険班長

今回の改正の緩和については主に運用に問題が無ければという記載があるので運用に明らかに問題があった場合は指導していかなければならないと思っている、万が一そういった場合は頻繁に足を運ばざるを得ないと考えている。

休憩 17時15分

(傍聴議員の質疑：渡辺・大沼・松崎 各議員)

再開 17時31分

<討論>

なし

<採決>

委員長

議案第21号を採決する。原案の通り可決することに賛成の委員の挙手を求める。

(挙手全員)

挙手全員である。よって議案第21号は可決された。

次に議案第22号を採決する。原案の通り可決することに賛成の委員の挙

手を求める。

(挙手全員)

挙手全員である。よって議案第 22 号は可決された。
次に議案第 23 号を採決する。原案の通り可決することに賛成の委員の挙
手を求める。

(挙手全員)

挙手全員である。よって議案第 23 号は可決された。
次に議案第 24 号を採決する。原案の通り可決することに賛成の委員の挙
手を求める。

(挙手全員)

挙手全員である。よって議案第 24 号は可決された。
以上で審査を終了とする

閉会 17 時 33 分